

平成30年3月30日
四国電力株式会社

平成30年度供給計画（一般送配電事業者分）に基づく 四国エリアの電力需給見通し等について

当社は、本年3月23日、電力広域的運営推進機関（以下、広域機関）に対し、平成30年度供給計画（一般送配電事業者分）を提出いたしました。

本日、広域機関が、全国のエリア需給バランスを評価・公表したことに合わせて、以下のとおり、四国エリアの電力需給見通し等について、お知らせいたします。

1. 四国エリアの電力需要見通し

	28年度 (実績)	29年度 (実績 見込)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	39年度	28～39 年平均 伸び率
需要電力量 [使用端：億 kWh]	261 <263>	260 <262>	259	259	258	258	257	254	0.2 < 0.3>
最大電力 [送電端：万 kW]	502 <519>	508 <517>	503	503	503	502	501	497	0.1 < 0.4>

(注1) < >内は、生値（気温閾補正前の数値）。

(注2) 最大電力は、夏季における最大3日の平均電力。

2. 四国エリアの夏季電力需給見通し

	29年度 (実績)	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	39年度
最大電力	508	503	503	503	502	501	497
供給力	618	568	559	566	547	554	567
供給予備力	109	65	56	63	45	53	70
供給予備率	21.5	13.0	11.1	12.5	9.0	10.5	14.0

[送電端、万 kW、%]

3. 流通設備計画

主要送電線路の整備計画

整備計画	電圧およびこう長	変更理由	使用開始年月
松山東線 2回線化	18.7万V 47.8km	高経年化対策・系統対策	平成31年11月
西条火力線 増強	18.7万V 6.5km	電源対応	平成33年5月

1回線送電線である松山東線および北松山線をルート統合することにより2回線化を行う。

以上